1. Gitによって解決しようとした問題は？

1つのプロジェクトで協同作業を行う際、足を踏みあってしまうこと。

文書やソースコードを以前の状態に戻す際、コピーを複数取らなくてもよくするため。

変更した部分の一部のみを元に戻したい場合、そこの箇所を探すのに多くの時間がかかってしまう問題。

複数の関連したファイルの状態を異なる日付へ戻したい場合、戻してもエラーが出ないかを確認するために時間がかかってしまう問題。

文書やソースコードを変更した際、誰がなぜ変更したのかがわからなくなる問題。

1. 問題解決のためにGitで管理しようとしたものは？

文書

ソースコード

1. Gitで管理しないことにしたものは何か？

オブジェクトファイル

ファイルの所有者情報

1. 要約

分散型の版管理システムであるGitは主に以下の4つのことができる。

1つ目ファイルの変更後も以前の状態に復元することができる。

2つ目はファイルを変更した履歴を調べることができる。

3つ目はどのような理由で誰がファイルを変更したのかを記録、検索できる。

4つ目はファイルをローカルに保存しネットワークから分離された状態でも作業を続行することや、他人に影響を与えずにファイルを変更できる。

1. 感想

Gitは初めからOSSとして公開するために開発されたのではなく、自分たちが使いやすいものを作成した結果GitがOSSとして公開されたのだと知った。自分は複数のPCで同じファイルを扱うためにGitHubを利用している。以前はGoogleDriveでやり取りを行っていたがGitHubではアプリからPullするだけでローカルに保存できるので使い勝手が良い。

GitHubはゼミナールで取り組んだグループでのシステム開発でも利用したことがある。個人的に最も重宝したことは、ネットワークがない場所でもローカル環境で開発作業が進められ、簡単な操作でプッシュできるのでグループ内でのファイル共有が容易であるというところだった。しかし、グループ全員がGitHubで管理しているというわけではなく、役割別にファイルを管理していたため役割が異なる人とのファイルのやり取りに苦労した。

次回のプロジェクトではGitHubで統一してファイルを管理したい。

ここを追加しました